

6日(土) ・7日(日)	第36回ふっさ桜まつり
13日(土)	小江戸川越まちなかウォーキング
27日(土)	松林分館・うりずん(初夏)コンサート

「第36回ふっさ桜まつり写真コンクール」を実施中!  
4月26日(金)までに  
ご応募ください(当日消印有効)。



今号の主な記事

3面ゴールデンウィーク中の市役所などの休業期間 5面福生七夕まつり開催情報! 6面平成31年度道路舗装工事等の予定箇所  
7面特定不妊治療費助成事業 8面産後ケア事業を開始します 9面「東京グローバルゲートウェイ」で英語を話そう!

私が市長に就任して、10年が経過し、その間、福生市のまちづくりが進み、さまざまな施策に取り組み、挑戦し続けてきました。これは、いつのときも、市民の皆様や議員各位からの多大なる御指導や御協力を賜りましたことにより、その挑戦がまちづくりの施策として形となり、一つ一つ、前に進むことができたものと思っています。

改めて、この場をお借りして、市民の皆様、議員各位、関係各位に對しまして、厚く御礼を申し上げます。

さて、昨年を振り返ってみますと、平成30年は地震、豪雨、猛暑といった自然災害が多かった年であり、近年このような自然災害が頻りに発生していることから、行政として可能な限り「防災に対する備え」の充実に努めていかなければならないことを思い知らされた1年でした。

このような思いも踏まえ、昨年12月には、さまざまな災害に対応できるよう、より現実に即した実効性のある計画とするため、福生市地域防災計画を改定しました。また、防災教育センターでは、昨年10月の総合防災訓練で、初めて災害時対応施設として訓練を行うことができました。この訓練でわかった課題等を検証し、センターの機能



福生市長  
加藤育男

## 平成31年度 施政方針

施政方針とは、市政運営にあたり、市長が重要施策や予算について、第1回福生市議会定例会で表明するものです。

一方、まちの話題に目をむけますと、昨年は、特にスポーツの分野で市民の活躍が目立った年でした。第一中学校ハンドボール部の菊池陸斗さんが、JOCジュニアオリンピックカップハンドボール大会に東京都選抜のメンバーとして出場し、第二中学校陸上部の高山玲渚さんは、陸上女子1,500m走でジュニアオリンピック陸上競技大会のほか、全国大会にも出場し、また、カナダで開催されたフライングディスクの世界ジュニアアルティメット選手権大会に第二中学校出身の松橋大翔さんと倉鹿野南鼓音さんが日本代表選手として選出され、出場を果たしています。

さらには、70歳の相羽吉男さんは、スペインのマラガで開催された「第23回ワールドマスターズ陸上競技選手権大会」、いわゆる世界マスターズ陸上に出場し、金メダル2個を含む4つのメダルを獲得するなど、すばらしい結果を出して、福生市の名を世に知らしめていただいています。

このような市民の活躍は、私たちに誇りと喜びを、そして夢や感動を与えてくれました。また、来年、2020年には、オリンピック・パラリンピックが東京で開催されることから、スポーツへの関心はこれまで以上に高まっていくことと思います。市としても、スポーツに親しむことができる環境づくりや選手が活躍できる施設環境の整備にも取り組み、市民の活躍を後押ししていきたくと考えています。

十分に発揮できるように備えていきます。

### 重要施策について

#### 【ハード事業】

- 都市計画道路3・4・7号富士見通り線整備  
平成31年度は地区計画の策定と用地買収等についても引き続き計画的に行います。
- 福祉センター設備改良事業  
引き続き空調、換気設備、LED照明等の設備の改修工事を進め、すべての設備の更新が2019年12月末までに完了する予定です。
- 第三小学校増築事業  
新たな施設の増築工事を行い、2020年4月からの供用を目指します。
- 市民会館舞台装置等改良事業  
老朽化した空調設備、舞台の照明設備、音響設備や貨物用のエレベーターなどの改修を行い、施設の不具合に対応します。
- 市営競技場改良事業  
グラウンドの人工芝化と管理棟の改修工事を行い、施設価値を高め、砂塵対策や利用機会が拡大されるよう施設のリニューアルを進めます。
- 新扶桑会館の供用開始  
今年度内で整備工事を終え、2019年7月2日(火)から新たな扶桑会館の供用が開始されます。新たな扶桑会館が市民の皆様にも愛される施設となるよう努めます。

#### 【ソフト事業】

- 総合計画策定事務  
次なる第5期総合計画の策定に向け、総合計画の最上部に位置する基本構想の策定に向けて審議を重ねています。
- 公共施設のマネジメントの取組  
公共施設の老朽化等を踏まえ、福生市公共施設等総合管理計画を定めており、これから当計画に基づく個別施設計画を策定し、計画的にマネジメントをしていくこととなります。平成31年度は、市民説明会と中学校区ごとの市民懇談会を行い、公共施設の現状と今後のあり方について説明をさせていただき、市民の皆様からご意見を拝聴しつつ、情報共有を図っていきたくと考えています。
- 福生駅西口地区の再開発支援の取組  
平成31年度は、福生駅西口地区市街地再開発準備組合から要望がありました「公共施設の導入」について具体的な検討を進めます。導入する施設種別の方向性を定めた基本方針に基づき、具体的な規模等を定める「基本計画」について、9月を目途に策定していく予定です。また、再開発事業を進めるために必要となる東京都の「都市再開発方針」に本事業を位置づけるための事務や関係機関との協議、調整も合わせて進めます。
- 子育て支援施策の充実に資する取組  
産後に家族等の援助が受けられない産婦および乳児に対して、母親の身体的回復と心理的な安定

- 等を促す「産後ケア事業」に取り組みます。多様なニーズに対応できるよう選択肢を増やし、さらなる子育て支援環境の充実に努めます。
- また、「特定不妊治療」の治療費の一部を助成する「特定不妊治療費助成事業」にも取り組むことで、少しでも経済的な負担を軽減し、不妊に悩む方々への一助となればと考えています。
- 保育環境の充実に資する事業  
「幼稚園における2歳児定期利用保育事業」や「ベビーシッター利用支援事業」に取り組み、保育環境の充実に努めます。そのほか、学童クラブについても、児童の入所状況を鑑み、第六小学校内に新たに学童クラブを開設し、同クラブの育成環境を向上させていきます。
- 平成31年度も子育て支援施策の充実に資する取組を展開しますが、昨年11月に公表された、日経DUALと日本経済新聞社が実施した「共働き子育てしやすい街ランキング」の平成30年のランキングでは、総合6位と高評価をいただきました。このように、継続してランキングの上位を維持している状況は、「子育てするならふっさ」が名実ともに、「まちの魅力」として定着していることの一つの評価であると思っています。これからも、まちの魅力である「子育て支援施策」の充実に力を注いでいく所存です。
- 下水道事業会計の公営企業化  
特別会計におきましては、平成31年度から下水道事業会計の公営企業化が始まりますので、円滑な移行、安定した事業運営に努めます。

2面に続きます→